

# かさ ぼこ 笠鉾から山・鉾・屋台へ ~笠鉾から祭りのヒミツが見えてくる!~

日常生活をおびやかす予期せぬ災厄を疫神の仕業と考えた人々は、趣向を凝らした笠鉾に疫神を依りつかせ、それを踊り囃しながら自分たちの生活圏外に追い出そうとしました。各地に残る多彩な山や鉾、屋台は、笠鉾や囃しの集団を構成するものの中からいずれかを選び取り、発展させてきたものなのです。

この展覧会では、笠鉾をキーワードにそのルーツと拡がりを紹介し、それぞれの地域の祭りのヒミツに迫ります。



▲三ツ山ひな型 (姫路市・播磨国総社所蔵)

20年に一度しか開催されない三ツ山大祭の山の伝承のために造られたミニチュア (高さ約145cm)。実物の山の大きさは約18メートル。(国指定重要有形民俗文化財)



▲東濱町の傘鉾 (長崎市 東濱町自治会所蔵)

長崎くんちには各町を象徴する趣向を凝らした傘鉾が出る。県外初出品。



▲崎陽諏訪明神祭祀図部分 (大阪府立中之島図書館所蔵)

長崎くんちの様子を描いた江戸時代後期の作品に東濱町の笠鉾が描かれている。傘鉾のだし(飾り)は蜃気楼。  
※蜃気楼は、「蜃」(大蛤)が吐く気によって生れると考えられていた



▼笠鉾本蝶蕪

(熊本県八代市 本町一丁目・本町二丁目 笠鉾本蝶蕪保存会所蔵)

一人持ちの傘から大型化した八代オリジナルの笠鉾。  
(熊本県指定文化財)

▼祇園祭礼図屏風部分 (大阪歴史博物館所蔵) 江戸時代初期の京都祇園祭の様子。



## 【交通のご案内】

- JR** 鹿兒島本線・肥薩おれんじ鉄道八代駅下車3km  
九州新幹線新八代駅下車6km
- バス** 八代駅・新八代駅西口から「検察庁・法務局・市博物館前」  
「北荒神町福祉センター前」「八代市役所前」いずれかのバス停下車
- 車** 八代ICから八代港線に入り、田中西町交差点を左折(南下)  
松浜軒前交差点を右折すく ※大型バス4台、普通車40台駐車可



## 八代市立博物館未来の森ミュージアム

〒866-0863 熊本県八代市西松江城町12-35 TEL0965-34-5555 FAX0965-33-9200  
博物館ホームページ <http://www.city.yatsushiro.kumamoto.jp/museum/>